

一誌一句(受贈誌より)

米田 透 抄出

宮澤賢治風のかたち桃を剥く

(齒車)

前田 弘

呼ばれたるごとくに薔薇を蝶離れ

(対岸)

今瀬 剛一

藤井聡太棋聖の癖毛秋の馬

(からまつ)

石川 春兔

断崖に鬼百合の咲く大河かな

(年輪)

坂口 緑志

虹の橋渡つてみたいとふ園児

(風の道)

大高 霧海

自粛とや木槿咲き継ぎ尋ね人

(海原)

安西 篤

悟らねばならぬと滝が落ちてくる

(紫)

山崎 十生

暑気払ひかも一刻の雨の修羅

(鴻)

増成 栗人

遊泳の耳の川音持ち帰る

(青芝)

梶原 美邦

蛇渡る沼の面に疵残さずに

(風港)

中川 雅雪